

(社) 島根被害者サポートセンター

ニュースレター 2010

vol 1

もうすぐ一年...

春の訪れが待ち遠しい今日この頃ですが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

昨年4月に事務所を設けて間もなく一年を迎えようとしています。この間、県内では数々の悲しく痛ましい事件・事故が発生し、当センターでも、支援に当たるボランティアの養成や広報活動を行いつつ、様々な支援に携わらせていただいています。

新年のごあいさつとともにお知らせしましたが、当センターは昨年12月8日に一般社団法人の認定を受けました。被害者等に早い段階で適切な支援を行うことができるよう、今後は公益社団法人への認定、さらには犯罪被害者等早期援助団体を目指します。

ここで、5月11日の開所式以降、昨年末までの活動状況についてご報告します。

平成21年度活動状況

(平成21年5月～12月)

電話相談・面接相談

平日の10時から16時まで、当センター内の電話相談室において、延べ8名の支援ボランティアが相談者からの電話相談に対応しています。必要に応じて、相談員等を交えての面接相談を行い、直接支援等具体的な支援を行います。

新事務所を開設した平成21年4月13日から12月末日までの電話相談件数は89件、面接相談件数は10件でした。

相談専用電話
(フリーダイヤル)

こころのすくい
0120-556-491

相談時間
10:00～16:00
(土、日曜日、祝日除く)

直接支援

裁判所や法律事務所への付き添い、関係機関との調整などの直接支援を19回行いました。

専門家の紹介・相談

弁護士の紹介や当センター臨床心理士による心理相談を行いました。

支援員養成講座 (平成21年6月7日~8月2日(全7回)、いきいきプラザ島根研修室(松江市))

当センターでは、電話相談や面接相談、病院や裁判所等への付き添いなど、犯罪被害に遭われた方の支援を行うボランティアを養成する講座を開催しています。

平成21年度は県や警察など行政機関の担当者、弁護士や臨床心理士など専門家による被害者支援に関する講義の他、7月5日には犯罪被害者遺族松田政美さんをお迎えし、講演会「被害者の求めている支援」を開催しました。



松田政美さんによる講演会(7月5日)

全7回の講座を開催し、18名が受講しました。

全講座を受講した12名には当センター大西副理事長より修了証が授与され、補助員として支援ボランティアとともに、実践練習を行っています。

当センターが行う支援活動には支援ボランティアの協力なくしてはなりません。

支援ボランティア募集

支援ボランティアの養成とともに、広く被害者支援への理解を得るために、来年度も支援員養成講座を開催する予定としています。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

命の授業 (平成21年9月1日、10月29日、11月26日、出雲北陵中学校・高等学校他)

被害者支援意識の高揚と事件・事故の防止を目的として、県内4校(中学校1校、高等学校3校)で当センター理事でもある江角由利子さん(交通犯罪被害者遺族)による命の授業を開催しました。

生徒の皆さんから「交通事故の裁判の話聞いて、刑が短いことに驚きました。(事故により失われた)人の命の重さがこんなに軽くていいのかと思いました。」「一人の勝手な行動で、多くの悲しみを生み、一生消えることのない傷を心につけられること、それがとても怖いことだと思いました。」「突然命を奪われた遺族の悔しさと悲しみを知り、自分が命を奪う側にならないように気をつけたいと思いました。」などの感想をいただきました。



命の授業の様子(9月1日、出雲北陵中学校・高等学校)



講演をする江角由利子理事
(9月1日、出雲北陵中学校・高等学校)

近い将来、車のハンドルを握る生徒の皆さんに、命の授業を通じて運転する者へ課された責任の重さや命の大切さを伝えることは、意義のあることだと思います。

被害者支援講演会 (平成21年11月3日、浜田市総合福祉センター(浜田市))

平成13(2001)年6月8日に発生した大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件で長女麻希さん(当時7歳)の命を奪われた酒井肇さんをお迎えし、「被害者の支援の原点に戻って—私たちが望んだ支援 私たちが受けた支援—」について講演をしていただきました。

事件当初に受けた報道被害に触れ、その際に受けた支援についてのお話をお聞きしました。被害者やそのご家族が、事件・事故について話をするには、計り知れないほどのエネルギーを使います。酒井さんは、周囲の方から、なぜそんなに頑張れるのかと問われることがあるそうです。事件現場に残された血痕をたよりに分かった真実、麻希さんが受けた苦しみ・痛み・悲しみ、そして頑張りには比べようがないけれども、麻希さんのために、二度と同じような事件が起きないように、講演会等を通じて、事件の真実と遺された家族の思いを伝えたいとおっしゃっていました。

会場には、100名を超える方々におこしいただきました。

酒井さんからの話を聞き、犯罪被害に遭い、混乱して、どのような支援を求めてよいか分からないで苦しんでいる被害者の方々の声なき声に気づき、適切なタイミングで適切な支援を行うことが、当センターの役割であると改めて感じました。



講演会会場内の様子(11月3日)

被害者週間 (平成21年11月25日~12月1日、JR松江駅前他)

県、警察、その他関係機関で構成される島根県被害者支援連絡協議会による各種広報活動に参加し、松江、益田2カ所で街頭広報活動やパネル展などを通して、県民の皆さんに被害者支援への理解を求めるとともに、当センターのPRも行いました。



パネル展示(11月24日~28日、県庁ロビー(松江市))



街頭広報活動(11月30日、ゆめタウン益田(益田市))



街頭広報活動で配布した
チラシ、ポケットティッシュ

また、高橋シズエさん(地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人)を講師に迎えた同協議会主催の被害者支援講演会の後援も行いました。

募金箱、支援自動販売機の設置にご協力ください！

当センターの活動資金を目的に、相談電話番号や支援内容等のPRも兼ねた募金箱、支援自動販売機の設置にご協力いただける企業・店舗・施設等がありましたら、事務局までご連絡ください。



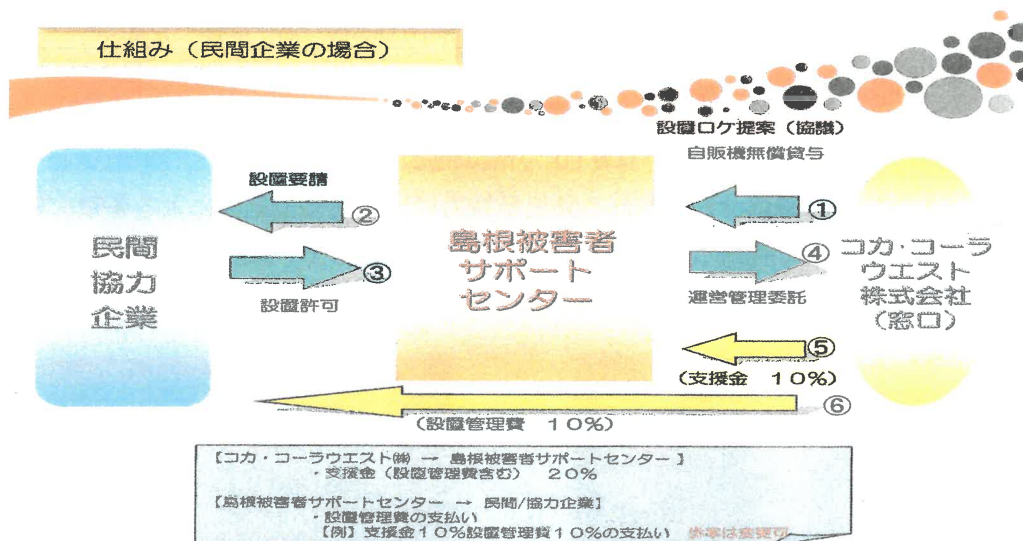
募金箱

●募金箱

NPO法人全国被害者支援ネットワーク企画・製作による、幅13cm、奥行18cm、高さ28cmの募金箱です。

●支援自動販売機

コカ・コーラウエスト株式会社岡山・山陰営業部島根東支店より「島根被害者サポートセンター支援自販機」設置に関する提案がありました。企業・施設内に設置する自動販売機の売り上げの一部が当センターへの支援金になるという仕組みです。(下図のとおり)



安心・安全支援自販機(防犯・福祉)



福祉支援 交通教育育成基金



秋田県防犯協会 (安全・安心)

自動販売機の表面には当センターの相談電話番号や支援内容のPRを施します。(デザイン料・制作費はコカ・コーラウエスト社負担、左写真は他団体のもの)

一般社団法人 島根被害者サポートセンター事務局
〒690-0011 松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根 2階
TEL (0852) 32-5928 / FAX (0852) 33-7928
URL <http://www7.plala.or.jp/shimane-vsc/>